

2023 年度あかつき幼稚園学校関係者評価

今年度は北九州市私立幼稚園連盟より幼児教育アドバイザーを招き、学校評価について学びました。教職員による点検項目を策定する事からはじめ、自己評価自己点検を実施しました。

学校関係者評価として、別紙評価表と活動報告を示して評価委員より以下の通りコメントを頂きました。

○あかつき幼稚園の教育目標

「一人一人が大切にされ、互いを認め合い育ち合う子どもたち。
浄土真宗の人間観と世界観の実現を目指す。」

智慧 かしこさ 誠実 まごころ 意志 たくましさ 慈愛 やさしさ

○あかつき幼稚園の 2023 年度

コロナウイルス感染症 5 類移行より、対面の行事を増やしました。サポート園として多様な子どもたちが成長する幼稚園を目指し、一人一人が大切にされ、個性を活かした協働的な活動の展開を目指しました。

また、幼稚園教諭の働き方改革を進めるため、業務の ICT 化を進めました。

○今年度の目標と評価項目

評価項目 1

一人一人が大切にされ多様な成長を支える新しいあかつき幼稚園の保育を確立する

- 1) 一人一人の成長記録の活用
- 2) 特別支援研修を保育現場へ活用
- 3) 多様な成長と両立する行事

評価項目 2

保育に集中できる環境づくりを工夫する

- 1) 保育の可視化と保護者との連携
- 2) ICT 化による保育業務の省力化

評価項目 3

保育や成長を語り合える場を作ります

- 1) 研修後の対話と共有
- 2) 保育を語り合う関係づくり
- 3) 保育に生きる会議とは

○評価委員コメント

本年度、職員の異動が多く、立ち上がりなど大変であったと推察される中で、園長先生を中心として、教育目標を全職員で共通理解し、取り組みを充実させた点は素晴らしい。その中においても、特に安全・安心について細心の注意を払っていること、言葉を大切にしながら心を育てる人権教育が実践されていること、多様な子どもたちを積極的に受け入れ、協働的な保育を充実させていることで、バランスよく子どもが育っている。

教員の保育業務については、ICTの導入により、業務が効率的に行われていることがうかがえ、今後もより一層の活用により、業務の効率化が図られことで、保育が充実したものになることが期待できる。

全体の雰囲気について、若々しさと活気に富んでいるという印象がありました。保護者とのコミュニケーションに関しても、十分に取れていたと感じます。しかしながら、元気な姿と同時に精神面の脆さを感じることがありました。そのためにも心と身体の健康管理に一層の注意を払っていただきたいと思います。

給食の量について特に年長さんからのコメントに、量が少ないという声が目立ちました。

教職員の皆さんがよく頑張ってらっしゃいます。

令和 6 年 3 月 21 日

評価委員

評価委員

評価委員

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等					
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標			成果評価				
一人一人が大切にされ多様な成長を確立する	成長一人一人の活用	4	成長の記録を踏まえた保育計画を立てる	2.7	4	発達段階に合わせた保育が行われる	2.9	B	<p>①教諭間での子どもの成長共有が向上 昨年度に比べ、教諭同士が成長記録を確認しながら面談や保育の内容を共有し、個別との関わり方を考えることができるようになった。</p> <p>②成長記録の不足とばらつきの課題 一部の教諭は気になる子どもに対して終礼で共有はしているが、成長記録まで目を通していない。個人記録の作成と共有はできているが、環境への取り入れには課題があり、クラス間でのばらつきも見受けられる。</p> <p>③環境構成と交流の向上 異なる階の教室やクラスへの訪問が不足しており、子どもたちとの交流を兼ねた他クラスへの訪問機会を増やす必要がある。担任同士の情報共有と主任への報告を通じて、気になる子への対応が進み、環境構成や保育の改善が求められている。</p>				
		3	発達に応じた環境づくりを行い担任間で共有する		3	よりよい環境構成の中で遊びを楽しむ							
		2	気になる子の成長記録を担任以外の教諭も目を通す		2	全体での支援を行うことができる							
		1	個別の様子を学期ごとに記録し、振り返ることで保育の工夫につなげる		1	一人一人の成長が分かる							
	特別支援現場へ研修を	4	研修で学んだことを保育に取り入れ実践を行い該当した教諭以外の意見を聞く	2.6	4	一人一人に応じた個別の対応がなされ、全体でのサポートを受ける事ができる。	2.7			B	<p>①研修の具体的な共有と実践への取り入れ 教諭は研修の内容を今よりも具体的に共有し、それを知識や実践として取り入れたいと考えている。研修を通じて保育内容を考え、子どもたちの成長を促す姿勢が強調されている。</p> <p>②特別支援に対する意識と研修参加の変化 特別な支援が必要な子どもへの個別の対応は積極的に行っていなかったが、特別支援の研修を受けたことで保育の姿勢や話し方を改め、子どもたちに適した環境づくりに取り組む姿勢へと変化している。</p> <p>③研修参加の積極性と情報共有の課題 教諭は研修への積極的な参加を心掛け、学んだ内容を他の職員と共有している。行事前など忙しい時期には全体での共有が難しい。今後は研修への積極的な参加を目指し、受けていない研修の資料を保管して共有する仕組みを整えることが求められる。</p>		
		3	研修で学んだことを頭に入れ多面的な視点で子どもと関わる		3	特性に応じた対応を受けることができる							
		2	実践できそうなことを紹介し、結果を報告する		2	様々な環境で過ごすことができる							
		1	積極的に研修に参加し、その内容を保育に取り入れる		1	よりよく過ごすことができる							
	多様な成長と	4	異年齢児殿交流の場をつくる	3.4	4	達成感や高揚感を持つことができる	3.2					B	<p>①子ども主体の行事への転換 担任は子どもたちの意見を取り入れ、行事を子ども主体で展開している。子どもたちは楽しみながら積極的に練習や本番に参加し、友達意識や集団意識が芽生えた。</p> <p>②年齢や異年齢児との交流促進 行事について子どもたちとの話し合い時間を確保し、特に年長児は友だち同士で教え合う姿が見受けられた。異年齢児との交流や遊びを増やし、新しい環境に慣れるように関わりを増やしている。</p> <p>③行事を通じた目標達成と協調性 行事を子どもたちと話し合いながら進め、最終的な目標である達成感を得ることができた。異なる学年との関わりがあり、子どもたちの興味関心を取り入れながら変更することができ、協調性の向上が見られた。</p>
		3	友だち同士で教え合う時間をつくる		3	協調性を持って参加する							
		2	子どもの気持ちや思いを優先した行事づくりを行う		2	自主的に参加する							
		1	行事について話し合う時間をつくる		1	練習に参加する							

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等				
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標			成果評価			
保育に集中できる環境づくりを工夫する	保育者と保護者の連携と可視化	4	教職員の様子や受けた研修の様子を保護者に配信する	2.3	4	共通理解をすることで、家庭内で園生活の様子を認めてもらうことができる	2.6	B	①保護者との連携強化と情報共有の課題 教諭は保護者に見てもらいたい場面を実際に保護者の言葉から気付き、それを発信することを目指している。「おうちえん」を通じて保育の様子を保護者に伝え、会話のきっかけとなり、園での様子を家庭で話すきっかけになっている。 課題として連絡内容の不足やおうち園の活用頻度の差など情報発信の量と質の課題が挙げられている。 また、保護者へ計画・ねらいの伝達が不足していると感じ、幼稚園の取り組みや研修の様子などを伝えるなど改善が求められている。			
		3	保育の写真だけでなく計画やねらいを保護者向けに配信する		3	共通理解をすることで、過程でも達成感や満足感を得ることができる						
		2	チャレンジカードなどを活用し、頑張っている事を保護者と共有する		2	家庭でも園の様子を把握してもらう事で、意欲につなげる						
		1	日常の様子を「おうちえん」を活用し、写真や動画に収め、いつでも見返すことができるようにする		1	自分の活動を振り返り、達成感を味わう						
	ICT化による業務の省力化	ICT化による業務の省力化	4	行事や研修の記録簡単にまとめデータに残し見返しやすくする	3.2	4	個別に応じた行事の在り方や保育がなされ記録に繋がる			3.1	B	①ICTの活用による業務効率化と情報共有 教諭は仕事でICTを使う機会が増え、これによって業務がスムーズに行えるようになり、指導案や計画の作成が容易になり、情報共有もしやすくなったと感じている。また、ICT化により記録の振り返りが可能になり、保護者との連携も強化された。 ②ICT化によるミスの減少と業務省力化 教諭はICT化により業務が省力化され、ミスが減少したと感じている。これによって時間の有効活用ができ、保育業務において他の部分に時間を使えるようになり、行事などの全体的な確認がしやすくなった。 ③ICTの導入による行事関連業務の効率化 ICTの導入により行事の指導案や記録、反省が園のフォルダに入り、共有が容易になり、行事の計画や振り返りが助かっている。また、欠席連絡やバスの利用に関する情報もICT化により確認しやすくなり、バスに関するミスも減少したことが安心に繋がっている。
			3	日頃のこどもの様子を気軽にアプリ内で保護者に伝える		3	園での様子を家庭でも話すことができる					
			2	欠席連絡以外の過程からの連絡事項をアプリ内で共有してもらう		2	安全に園生活を送ることができる					
			1	スムーズに情報共有を行うために、データに残し確認する		1	情報を利用し、多様な視点で保育を受ける事で、適切な対応を受ける事ができる					

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント 評価結果に関する説明・意見等	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標			成果評価
保育や成長を語り合える場を作ります	対話と共有	4	研修のプレゼンテーションをした後に、内容について全員で意見交換をする	2	4	発言しやすい環境ができ、様々な視点で保育を進める事ができる	2.2	C	①教諭同士の対話と研修内容の活用 教諭たちはお互いの保育に対する意見を聞き、対話を通じて保育に役立てることができている。研修の内容を参加してなくても知り、それを保育に繋げるために担任同士で話す機会が増えている。 ②研修後の共有不足と改善の課題 研修後の報告やプレゼンが少なく、共有が不足していると感じている。忙しい時期に疎かになることもあり、今後は研修での共有を増やすか、できなければ研修資料を回覧で回して共有するべきではないか。 ③研修に関した対話や共有の促進 教諭同士の対話や共有の時間は増えたが、特に研修に関する話し合いが不足していると感じている。特別支援に関する共有は行われているが、他の研修については共有が不足しており、これに対する反省が見られる。
		3	研修の内容を実践し、保育に活かす		3	保育の幅が広がり、保育の質が向上する			
		2	研修を受けた教諭が実際の資料を全体に共有する		2	受けていない研修内容も知ることができる			
		1	研修でもらった資料を共有フォルダに残し、皆がいつでも見られるようにする		1	困った時の情報源となる			
	保育関係を語り合う	4	年齢や経験を問わず、柔軟な考え方をし、長く勤めたいと思う雰囲気をつくる	3.1	4	安心して安定に過ごせる	2.9	B	①園全体での目標共有と情報共有の必要性 日々の忙しきや行事の準備に追われる中、報連相が疎かになることがあるが、そうした時こそ園全体で同じ目標に向かって情報を共有し、協力して頑張りたい。 ②教職員同士のコミュニケーション強化と信頼関係構築 話しやすい雰囲気を作ることで、保育に繋げるだけでなく、些細なことでも気にかけて、相談しやすい雰囲気があると感じられている。保育後の教諭同士の話し合いの時間を増やすことで、個別との関わりを統一し、情報共有の不足や伝え忘れを減らす事ができるのではないかと。 ③職員同士の話し合いと情報共有の改善 教諭同士での話し合いの機会は増えたが、確認不足や事前の相談の抜け漏れがあることに気づいており、これを改善するためには二重確認や事前の相談を強化する必要があると感じている。また、勤務時間中に保育者同士で保育に関する対話を増やす難しさも指摘されており、他愛もない話から始めて気軽にお互いに報告連絡する関係性をづくりが必要だ。
		2	職員会議以外の場で担任同士が話し合う時間を設ける		3	情報を共有し、個別の関わりを統一することで子どもが過ごしやすくなる			
		2	こまめに声をかけ、多野職員の様子を気にする		2	職員が安定して過ごすことで、子どもも安定して過ごすことができる			
		1	些細な事でも報告連絡相談をする		1	ケガやミスが減り、子どもが安全に過ごすことができる			
	保育に活かす	4	会議内容を担任が決める、担任が定期的に会議をする	1.9	4	要点を絞ることで効率よい会議になる	2.1	C	①子どもたちに関する話し合いと保育内容についての具体的な話し合いの機会の必要性 子どもたちに関する話し合いや保育内容についての具体的な話し合いの機会が今より増えるべきだと感じており、担任同士の交流や会議の設定が必要と考えている。 ②会議での発言や進行の課題 会議での発言があまり変わっておらず、定期的に会議ができていないとの指摘があり、会議以外での話し合いの機会が不足していると感じている。会議を行う際には、発言が増えつつも進行に関する課題や保育観の広がりが課題となっている。 ③クラスごとの様子に関する情報共有と改善の提案 各クラスごとの様子については終礼以外でもっと話せるようにすべきであり、今年度は全体での会議が少なかったため、把握しきれていない部分があったと感じられている。改善が必要であると認識しつつも、意見を言いやすい雰囲気があることが良いとされ、他クラスの様子をもっと知るための取り組みを行いたいとの意向がある。
		3	会議内容について各学年一人ずつのグループに分かれて意見を出し合う		3	発言回数が増え、多くの意見を取り入れることができる			
		2	各クラスの様子や保育活動を共有し、担任で意見を出し合う		2	共有する事で保育観が広がり、多様な子どもの姿に対応する事ができる			
		1	報告・連絡・相談に対して意見や評価を行う		1	報告・連絡・相談を行う事で意識が高まりミスが減る			

令和5年度あかつき幼稚園活動概要

月	日	活 動
1 学期		
4	3	補任式
4	5	預かり保育開始
4	7	一学期始業式
4	8	入園式
4	13	個人面談（～21）
4	24	父母の会総会
4	25	給食開始
5	29	入園進級写真
5	8	たんぼぼ組登園開始
5	24	歯科検診
7	5	内科検診
5	10	保育参観（年少）
5	11	保育参観（年中）
5	12	保育参観（年長）
6	5	貴船小学校芋の苗植え
6	7	防災・避難訓練
6	9	年中芋の苗植え（岡田四郎氏協力）
6	9	たんぼぼ組懇談会/保育参観
6	23	年長稲の苗植え
6	27	保育参観
6	28	水浴開始
7	5	内科検診
7	19	終業式
7	21	納涼ごっこ
7	26	ミニ同窓会(R4卒園児)

月	日	活 動
7	26	夏季保育(年中)
7	27	夏季保育(年長)
7	31	夏季保育(年少)
2 学期		
8	31	始業式
9	4	商店街見学
9	9	年長 かかし立て
9	19	ちびっ子マーケット
10	14	秋季大運動会（メディアドーム）
10	24	年長 稲刈り（岡田四郎氏協力）
10	26	年中 芋掘り（岡田四郎氏協力）
11	1	入園願書受付開始
11	8	秋の遠足（川棚 みかんがり）
11	16	貴船小芋掘り（年長）
11	27	音楽リズム発表会（年中）
11	28	音楽リズム発表会（年少）
11	29	音楽リズム発表会（年長）
12	4	個人面談（～8）
12	15	お餅つき
12	20	終業式
3 学期		
1	9	始業式
1	22	仏前礼拝 報恩講 浄念寺
1	26	卒園終了写真

月	日	活 動
1	31	避難訓練
2	2	節分の豆まき
2	21	生活発表会（ムーブ）
2	27	貴船小出前授業
2	28	たんぼぼ生活発表会（ホール）
3	1	タイムカプセル埋設
3	5	園外保育（勝山公園）
3	17	卒園式
3	22	修了式
研修会		
4	14	特別支援研修会 4
6	16	きく組研究保育(園内研修)
6	22	つくし組研究保育(園内研修)
6	24	福岡県幼児教育実践フォーラム 1
6	29	ブロック研修 4
7	24	私幼連教師研修大会 10
8	3	九州地区教師研修大会大分大会 2
8	28	ブロック研修 2
9	14	第1回特別支援研修会 4
10	23	第2回特別支援研修会 4
10	31	第3回特別支援研修会 4
11	17	連盟人権教育研修会 4
11	27	連盟乳児保育研修会 2
2	1	連盟こども園研修会 1
2	5	市 保幼小連携研修会

月	日	研修会
3	26	連盟春期研修会 9

新採幼稚園教諭研修会等		
4	14	教育センター新採研①
5	16	教育センター新採研②
6	8	教育センター新採研③
7	25	教育センター新採研④
7	26	教委センター新採研⑤
11	28	教育センター新採研⑥
2	16	教育センター新採研⑧

幼児教育センター巡回事業		
月	日	活 動
10	30	推進員巡回相談
12	1	推進員巡回相談
1	23	アドバイザー・推進員巡回相談
2	27	推進員巡回相談

学校関係者評価アドバイザー訪問事業		
月	日	活 動
7	21	学校関係者評価について
8	30	評価項目作成
2	28	学校関係者評価表作成